

事務事業名	企画調整負担金		会計	一般会計	実施区分	継続			
			事業種別	経常	開始	終了			
H29作成課等名	企画課	H29係等名	企画調整係	H28担当課等名 企画課					
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営						
	施策	93	良質な行政サービスの提供						
目的	対象(誰・何を)	全国等の情報			対象指標	指標名及び単位	28年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	市政(地域経営)に反映する				市政経営において継続的に情報交換を必要とする団体数	3		
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	有益な情報を交換できた団体数の割合(%)			100	100	100	100	
	定性目標	収集した情報をより効果的に活用されるよう市民への発信する。							
事業概要	関係機関へ負担金を支出して情報収集と人的ネットワークを構築し、飯田市がめざす地域経営に活かす。収集した情報をより効果的に活用されるよう市民への発信する。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 関係機関へ負担金を支出して連携を密にしなが、飯田市に有用な情報収集等を進め、市政運営に活かしていく。				(1)全国過疎地域自立促進連盟負担金 (2)南信州アルプスフォーラム補助金 (3)スローライフサミット負担金		3機関		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		398	351	348	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		398	351	348					
人件費計(千円)②		18	0	18	0				
正規職員所要時間		5		5					
臨時職員所要時間		0							
総事業費①+②		416	351	366	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	過疎や街、地域づくり、スローライフなど各テーマにおいて、関係する団体との連携・交流を通じて、情報交換を行い、市政への活用を進めてきている。								
改革改善の考え方	①問題点	情報収集や人的ネットワークをさらに広げつつ、市政に有用な情報や力を見定めながら集め、活かしていくことが重要である。							
	②改革提案	関係団体との連携を深めつつ、さらに有用な情報収集を進め、市政に活かしていく。形式的な負担金だけの団体の退団を進める。							